

妊娠編

1. 多胎の種類

多胎妊娠とは 1 度に 2 人以上の赤ちゃんを妊娠することをいいます。多胎とは、双子や三つ子などをまとめた呼び方です。

多胎の赤ちゃんの場合、まず一卵性か二卵性かの違いがあります。

多胎の種類でお母さんと赤ちゃんのリスクは異なります。妊娠初期の超音波検査によって種類が決まりますので産婦人科医師に確認してもらうようにしましょう。

一卵性の双胎は、もともと 1 つの受精卵が 2 つに分かれて発生します。原則として 2 人の性別は同じです。

二卵性の双胎は、別々の精子と卵が受精して生じた 2 つの受精卵が同じ子宮内で発生したものです。性別は異なることもあります。

DD 双胎（二絨毛膜二羊膜双胎）

胎盤は 2 つ（1 つになっている場合もある）、羊膜は胎児それぞれにある
2 人は別々の部屋にいる
栄養や酸素をもらう場所（胎盤）は別々



MD 双胎（一絨毛膜二羊膜双胎）

胎盤は 1 つ、羊膜は胎児それぞれにある
2 人は同じ部屋にいますが、部屋は仕切られている状態
栄養や酸素をもらう場所（胎盤）が同じ（均等に行き渡る場合もあれば、多い少ないが生じることもある）



MM 双胎（一絨毛膜一羊膜双胎）

胎盤・羊膜ともに 1 つ
2 人は同じ部屋にいて、仕切りもない状態
栄養や酸素をもらう場所（胎盤）が同じ（均等に行き渡る場合もあれば、多い少ないが生じることもある）

